

# 看護部

## 徳永尚美

平成 22 年度の看護部の活動は、「看護師個々の実践能力強化による看護の質の向上」「働きやすい職場環境と職務満足による定着率の向上」「病院経営への積極的参画」「地域との連携強化」、の 4 本柱を目標に掲げ政策医療分野と各プロジェクト、また、医療安全・感染防止・褥瘡対策・NST・情報システム・クリティカルパスなど病院の各委員会と連携し看護の質の向上に向け活動してきました。

また、看護研究業績については国際学会での講演、国内では国立病院総合医学会、国立病院看護研究学会、日本エイズ学会、日本慢性看護学会、日本緩和医療学会学術大会、日本環境感染学会、胃癌学会、血友病看護研究会、近畿地区国立病院看護学会、近畿エイズ研究学会、関西がんチーム医療研究会、大阪府看護協会研究学会等で 41 題の発表を行いました。各職場が積極的に看護研究に取り組み様々な学会での発表を行うことができました。看護研究については原則手揚げ方式とし、各病棟から現場の看護を少しでも改善したいという熱意から 26 題の応募があった。その中から今年度も 22 題を外部講師に研究計画書の段階から効果的な発表方法を含め、年 5 回の指導を受け成果を上げることができた。

現在、当院には急性・重症患者専門看護師 1 名、認定看護師としてがん性疼痛 2 名、がん化学療法 2 名、乳がん看護 1 名、緩和ケア 1 名、感染管理 3 名、重症集中ケア 1 名、皮膚・排泄ケア 1 名、救急看護 3 名の合計 15 名、・HIV コーディネーター 4 名、CRC 4 名の計 23 名スペシャリスト達が働いています。このような専門的知識と的確な判断能力を備えたスペシャリスト達とうまく連携をとりベッドサイドでの看護の質が一層充実することを期待しています。

### 【2010 年度研究発表業績】

A-4

四方文子：乳がん患者に寄り添うケア・支援第一回乳がん診断(告知)後の心理的サポート がん患者ケア 第 3 巻 5 号 P.64-68 日総研出版 2010 年 5・6 月号

水戸祥江：がん看護にかかわる看護師育成のための教育プログラム 第 3 巻 6 号 P.28-36 日総研出版 2010 年 7 月号

森岡亜希子：抗がん剤の曝露予防 泌尿器ケアナーシング 第 15 巻 10 号 P.79-83 メディカ出版 2010 年 10 月号

森岡亜希子：治療開始に際しての外来化学療法オリエンテーションと患者教育 外来がん化学療法 Nursing Mook62 P.63-65 学研メディカル秀潤社 2010 年 12 月号

梶原絹代：外来がん化学療法におけるチーム医療外来 がん化学療法 Nursing Mook62 P.53-55 学研メディカル秀潤社 2010 年 12 月号

森岡亜希子：S-1+CDDP 療法 外来がん化学療法 Nursing Mook62 P.146～150 学研メディカル秀潤社 2010年12月号

星寿子：死亡患者・家族へのケア ER 初期対応実践 BOOK 通巻 298 号 P.253～257 メディカ出版 2011年新春増刊号

大崎和子：シミュレーションを取り入れた新人看護師急変時教育 看護人材教育 P.25-30 日総研出版 2011年2・3月号 隔月刊誌

#### B-1

深井照美：Asian Base-Habit and Diet Considering Various Backgrounds of culture: THE JAPAN 第6回アジアストーマリハビリテーション学会（ASSR）インドネシア ジャカルタ市 2010年10月

深井照美：Wound Management 第6回アジアストーマリハビリテーション学会（ASSR）ジャカルタ市 2010年10月

深井照美：Role of Wound, Ostomy, Continence Nurse at Spina Bifida Outpatient Clinic 第38回国際小児脳神経外科学会（ISPN）韓国チェジュ島 2010年11月

深井照美：Ostomy Care ベトナムオストミー協会 2011年2月

#### B-3

下司有加：訪問看護ステーションにおける HIV 陽性者の受け入れに関する研究 第24回近畿エイズ研究学会 2010 6月

下司有加：自立困難な HIV 陽性者の家族に対する支援ニーズ 第4回日本慢性看護学会 札幌市 2010 6月

東政美：受診中断している HIV 陽性患者の保健行動の現状 第4回日本慢性看護学会 札幌市 2010 6月

治川知子：受診中断にいたる HIV/AIDS 患者の背景からみるサポート形成支援について。4回日本慢性看護学会 札幌市 2010 6月

山尾美希：一般診療所におけるインスリン非使用の2型糖尿病患者に対するセルフケアモニタリング手帳の効果 第4回日本慢性看護学会 札幌市 2010 6月

尾池真理：がん患者カウンセリング料算定における問題と今後の課題 第7回関西がんチーム医療研究会 大阪市 2010 9月

下司有加：外来診療におけるH I V専従看護師の必要性 第 24 回日本エイズ学会 東京 2010 年 11 月

永田万結：救命救急センターにおける急変時対応指導の取り組みの報告 第 64 回国立病院総合医学会 福岡市 2010 年 11 月

下司有加：セルフケア再考 第 24 回日本エイズ学会 東京 2010 年 11 月

下司有加：長期療養にともなう諸問題 第 24 回日本エイズ学会 東京 2010 年 11 月

下司有加：訪問看護ステーションにおけるH I V陽性者の受け入れに関する研究 第 7 回国立病院看護研究学会 岡山市 2010 年 12 月

下司有加：大阪医療センターにおける血友病もしくは類縁疾患患者の現状 第 4 回血友病看護研究会 2010 年 12 月

堀江さやか：ハンドケア製品導入後の状況報告 第 26 回日本環境感染学会 横浜市 2011 年 2 月

#### B-4

上田純子：がん看護相談における現状と課題 第 15 回日本緩和医療学会学術大会 東京 2010 年 6 月

梶原絹代：急性期病院におけるデスカンファレンスの実態調査 第 15 回日本緩和医療学会学術大会 東京 2010 年 6 月

近藤美由紀：胃癌術後患者の退院後の不安軽減に対する栄養指導方法の有用性 第 83 回日本胃癌学会 三沢市 2011 年 3 月

船津知佳：身体抑制基準スコアの活用に向けての取り組み 第 64 回国立病院総合医学会 福岡市 2010 年 11 月

久呉奈緒子：無菌室入室患者のストレス緩和に対する看護介入 第 64 回国立病院総合医学会 福岡市 2010 年 11 月

林奈央：手術を受ける胃癌患者の入院前の食生活と退院後の食生活に関する不安 第 64 回国立病院総合医学会 福岡市 2010 年 11 月

東有紀子：新人看護師のがん患者とのコミュニケーションの実態 第 64 回国立病院総合医学会 福岡市 2010 年 11 月

小野恭子:入院による薬物動態試験実施症例のプロトコール遵守のための院内調整を経験して 第 64 回国立病院総合医学会 福岡市 2010 年 11 月

山田千紗子: 長期間治療を継続する乳がん患者の家族支援 第 64 回国立病院総合医学会 福岡市 2010 年 11 月

榑田映理花: 消化器病棟における効果的な退院システム構築への取り組み 第 64 回国立病院総合医学会 福岡市 2010 年 11 月

田中美智子: 手術室看護師の術前訪問の実態調査 第 64 回国立病院総合医学会 福岡市 2010 年 11 月

山口愛美: 糖尿病患者参加型カンファレンスの効果 第 64 回国立病院総合医学会 福岡市 2010 年 11 月

藤田和代: 術後誤嚥性肺炎の発生について 第 64 回国立病院総合医学会 福岡市 2010 年 11 月

#### B-5

高島景子: 腹部血管造影塞栓術 (TAE) パスの現状と課題 平成 22 年度近畿ブロッククリティカルパス研修会 大阪市 2010 年 12 月

#### B-6

矢持妙佳:平成 21 年度入職の新人看護師の技術修得率と自己効力感の関係性 第 52 回近畿地区国立病院看護学会 大坂市 2010 年 10 月

中野志麻: 当院における院外看護師を対象とした HIV 看護研修の成果と課題 第 52 回近畿地区国立病院第 52 回看護学会 大坂市 2010 年 10 月

東加奈子:A病院消化器内科病棟における死後の処置についての実態調査 平成 22 年度大阪府看護研究学会 2010 年 10 月

#### B-9

下司有加: ハートをつなごう 第 1 弾 NHK 放送 2010 年 5 月 31 日～6 月 2 日

下司有加: ハートをつなごう 第 2 弾 NHK 放送 2010 年 12 月 20 日～21 日

四方文子: がん最前線 キャンサーボード TV BS 朝日 2010 年 12 月 19 日